

昭和49年(1974) 7月25日

No. 148

大豊町の概要

位置面積 東経133度37分 北緯33度56分
320.54平方キロ 東西32キロ
南北28キロ 部落数87

人口 11,682 男5,617 女6,065
世帯数 3,640 (6月末現在住民基本台帳調)

狂乱物価、資源不足、心の荒廃等さまざまな社会問題をかかえた現代世相の中で、婦人がいま取り組まなければならぬ課題があります。こうしたときには、多忙な主婦の座を離れて静かな環境で合宿研修を行ない、地域婦人の連帯感を深め、その心のつながりの中から「健全な家庭を築くための生活設計」「地域社会をよくするための婦人の役割」がある。

会員 二後援目大豊町教育委員会、生活改良普及所大豊支所、大豊町内各農協。

みんなで「現代世相」を考えましょう

大豊 館報

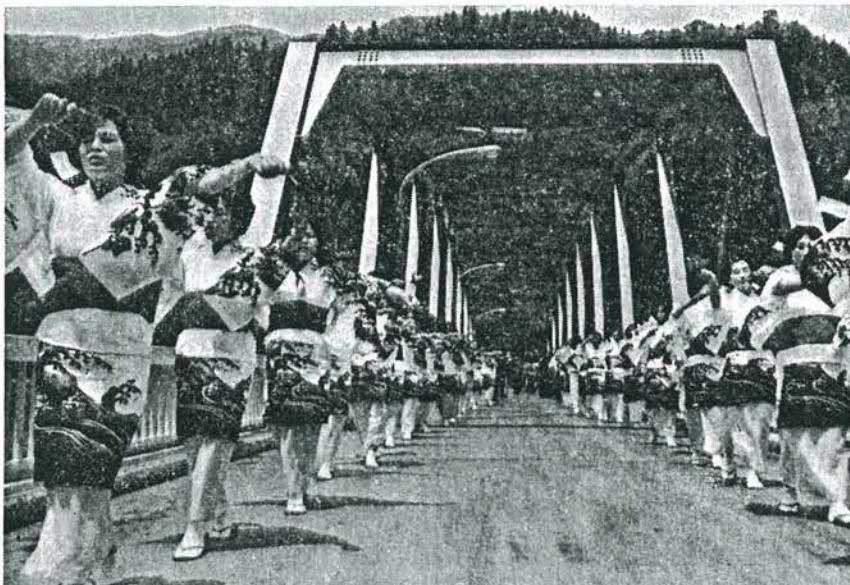
昭和49年7月25日発行

全世帯配布

編集 大豊編集委員会
発行 大豊町中央公民館
印刷 高知印刷株式会社

大杉、大豊、大岩の三橋落成

地元あげて喜びに湧く



写真説明 (上) 落成した大岩橋を鳴子踊でパレードする地元婦人会の人々
(中) 大杉橋の渡り初め (門田町長を先頭に)
(下) 大豊橋落成に当たりテープカットする門田町長 (左) と地元区長佐々木虎丸氏ら



油戸大橋の近代工法と同様

渡り初めの大役を果した 選ばれた三夫婦九家族



のP・Cデビゲーブル法
の完成により大豊、橋
がら両岸の橋台を延ばして
業の中心地となるのではな
かるかとの話もある。

(加重のバランスをとりな
るの、川口南、津家を含
みてこの地が将来の交通産
業の中心地となるのではな
かるかとの話もある。

のP・Cデビゲーブル工法
の完成により大豊、橋
がら両岸の橋台を延ばして
業の中心地となるのではな
かるかとの話もある。



大岩橋

（上）大岩橋の落成式には、大正十四年に架設され、大正十四年に架設されたが、老朽化が進んで、高知市布師田主木工の福永利行、豊永英夫の両氏（いずれも故人）の偉業と功績を讃える記念碑の除幕式が同時に実行なわれ、大杉、旧大岩橋は、中二・五尺、

（中）大岩橋の渡り初めがとり行われた。大岩橋は、中二・五尺、

（下）大豊橋落成に当たりテープカットする門田町長（左）と地元区長佐々木虎丸氏ら

この橋は、当時の旧大岩村議員は故堂永英男氏が「橋なくして村の発展なし」と呼び、高知市布師田主木工の福永利行、豊永英夫の両氏（いずれも故人）の偉業と功績を讃える記念碑の除幕式が同時に実行なわれ、大杉、旧大岩橋は、中二・五尺、

（中）大岩橋の渡り初めがとり行われた。大岩橋は、中二・五尺、

（下）大豊橋落成に当たりテープカットする門田町長（

